

厚生労働省、全国中央会に雇用安定確保について要請

昨年12月12日、渡辺孝男厚生労働副大臣が全国中央会を訪問し、昨今の経済情勢の悪化等に伴い雇用失業情勢が大変厳しい状況にあることから、①派遣労働者及び請負労働者の雇用の安定確保②期間従業員等の直接雇用している有期契約労働者の雇用の安定の確保③新規卒業者の内定取り消し④正規労働者の雇用の安定の確保について要請を行い全国中央会の鶴田欣也副会長（愛知県中央会会長）に對して要請書を手渡した。

なお、全国中央会からは、鶴田副会長のほか、坂戸誠一労働専門委員長（本会会長）、市川隆治専務理事が同席し、中小企業の雇用の安定のための雇用対策の充実、特に経済対策面で万全を期するよう要請した。

「生活防衛のための緊急対策」まとまる

経済対策閣僚会議は昨年12月19日「生活防衛のための緊急対策」を発表した。

同対策は、現下の経済金融対策

に對し、今年度から3年間のうちに景気対策を最優先で実現することとし、国民生活と経済を守るため、「生活対策」の実現及び税制改正に併せ、20年度第2次補正予算及び21年度予算において、万全を期するとしている。

具体的には、①雇用対策 1：1兆円程度②雇用創出等のための地方交付税増額 1兆円③経済緊急対応予備費の新設 1兆円④税制改正 1：1兆円程度⑤「生活対策」の実現 6兆円程度⑥金融市場 資金繰り対策 33兆円程度の施策が講じられる。

全国中央会自民党「生活防衛緊急対策本部」初会合で要望

昨年12月24日、自由民主党本部において、雇用情勢の悪化や企業の資金繰り不安に對するため、「生活防衛緊急対策本部」（本部長 麻生太郎総裁・内閣総理大臣）の初会合が開催された。

同会合には、本部長の麻生太郎総裁をはじめ、本部長代理の保利耕輔政務調査会長、副本部長の細田博之幹事長、笹川克総務会長、古賀誠選挙対策委員長等が出席、政府側からは、与謝野馨経済財政

担当大臣、谷本龍哉内閣府副大臣（金融担当）、舛添要一厚生労働大臣、二階俊博経済産業大臣が出席。

議事の中で、関係団体からのヒアリングがあり、全国中央会から鶴田欣也副会長（愛知県中央会会長）が出席し、「中小企業に對する資金繰り対策において、第2次補正予算の早期成立、さらなる資金繰り対策の充実を図っていただきたい」「中小企業の安定なくして雇用の安定はあり得ない、雇用安定のため景気対策に全力を傾注していただきたい」と強く訴えた。

理事会・新春賀詞交換会開催

本会は1月16日、千葉市内において、平成20年度第2回理事会並びに新春賀詞交換会を開催した。

理事会は①平成20年度事業進捗状況並びに収支状況②諸規程の改正等について③全国大会の開催について、が上程されいづれも原案どおり了承され決定した。

また、理事会終了後、猿田寿男千葉県商工労働部長、商工中金の渡邊勉千葉支店長や横山登松戸支店長等の来賓を交えて賀詞交換会が行なわれた。

官公需問題懇談会開催

本会は1月19日、千葉市内において官公需問題懇談会を開催した。はじめに、中小企業診断士の清水透先生が「官公需適格組合の受注強化策」について講演し、これを踏まえて各組合の取組み状況や受注にかかわる問題点等について懇談した。

懇談会終了後、千葉県官公需適格組合受注促進協議会（会長 鹿野新一郎浦安建設（協）理事長）主催による新春賀詞交換会が開かれた。

決算講習会開催

本会は1月22日千葉市で、2月5日柏市で決算講習会を開催した。

組合では毎年1回決算を行い、税務申告をする必要があり、また組合は一般法人と異なる特有の会計処理や税制上の特別措置があり、関係法令に基づく適正な決算処理が求められている。

なお、千葉会場の講師は公認会計士の高木清先生。柏会場の講師は税理士の古知潔先生。

創業・連携組織推進懇談会開催

本会は1月29日と30日の両日、千葉市と銚子市において、中小企業の組織化を推進するために創業・連携組織推進懇談会を開催した。

懇談会は当該地区の市町村、商工会、商工会議所の商工担当者に對して、本会指導員が中小企業組合制度について、その設立から運営、中小企業施策等について説明し、組合設立の実情についての意見交換を行なった。

なお、出席者は次のとおり。

【1月29日 千葉会場】

▽市担当者 千葉市、習志野市、市原市、八千代市、船橋市、市川市、浦安市▽商工会議所担当者 千葉、市原、習志野、八千代、船橋、市川、浦安、▽商工会担当者 千葉市土気

【1月30日 銚子会場】

▽市町担当者 銚子市、旭市、匝瑳市、香取市、神崎市、多古町、東庄町▽商工会議所担当者 銚子、佐原▽商工会担当者 匝瑳市、旭市、神崎市、香取市、多古町、東庄町